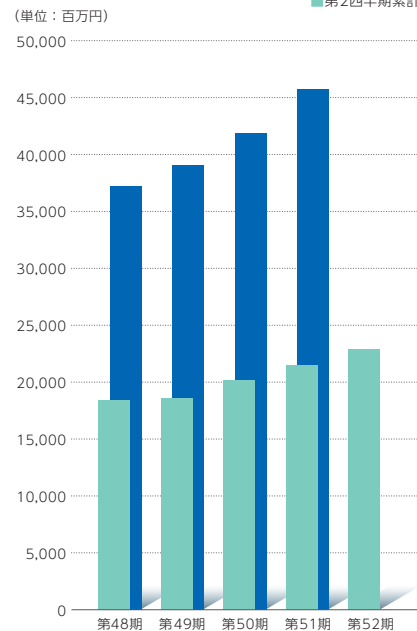


業績ハイライト(連結)

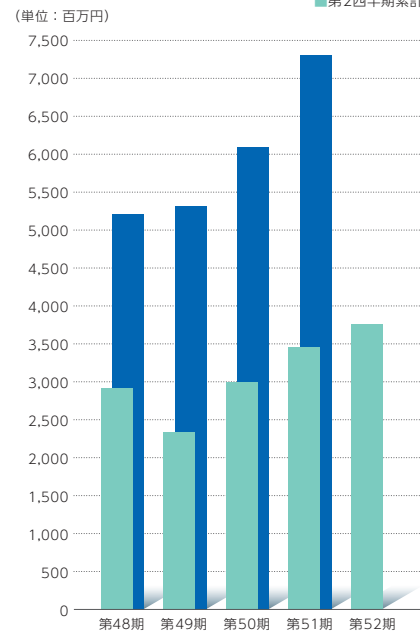
区分	期別	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期第2四半期 (2020年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期第2四半期 (2021年3月期)
売上高(百万円)		37,194	39,065	41,856	21,520	45,754	22,929
経常利益(百万円)		5,208	5,318	6,090	3,456	7,303	3,759
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		3,087	3,361	3,838	2,048	4,659	2,285
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		277.78	302.46	345.39	184.30	419.24	205.66
総資産(百万円)		55,537	57,629	60,302	61,808	63,397	63,563
純資産(百万円)		27,121	29,633	32,334	33,821	35,768	37,384

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

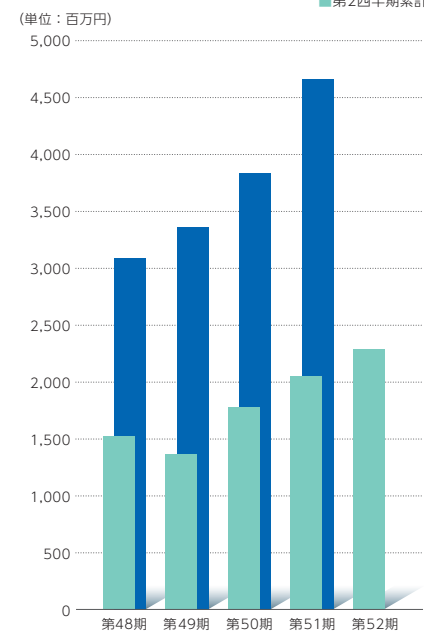
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の売上高は22,929百万円(前期同期比6.6%増)、営業利益は3,760百万円(前期同期比8.6%増)、経常利益は3,759百万円(前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,285百万円(前年同期比11.6%増)となり、売上高、利益額ともに前年を上回る結果となりました。

ユニットハウスのレンタルについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部工事の休止や延期の動きが見られましたが、首都圏を中心に継続して行われている再開工事などの大型案件や、プラントの定期修繕等についても受注活動に積極的に取り組んだ結果、出荷棟数・稼働棟数ともに堅調に推移し、連結売上高は前年同期比7.5%増となりました。

ユニットハウスの販売については、コロナ禍に対応する新生活様式により、テレワークスペースや販売店舗など、新たな空間のニーズが高まったことを受け、展示場来場者数やホームページの問い合わせ数は前年を大きく上回って推移いたしました。主に一般事業法人向けに事務所や店舗を販売する本設販売と、主に小型で安価な製品を販売するミニハウス販売の両方ともに売上高は前年を上回り、連結売上高は前年同期比6.4%増となりました。

トランクルームのレンタルについても、設備やワークスペースなどの付帯サービスを設けた店舗を含めて、前期末より店舗数を8店舗増やすなど事業拡大を進め、連結売上高は前年同期比5.9%増となりました。

総資産は前連結会計年度末に比べ166百万円増加し、63,563百万円となりました。純資産の合計額は前連結会計年度に比べ1,616百万円増加して37,384百万円となり、自己資本比率は58.8%と安定しております。



カフェレストラン外観



カフェレストラン内観



スポーツカフェ外観